

うじたわらちょう  
**宇治田原町 Ujitawara**

自然や地域との共生を指向した企業誘致を展開



市の概要

古くから京の都と奈良、近江を結ぶ交通の要所として発達。茶の文化を産地として支えてきた自負と伝統に培われた高潔さが風土として定着している。近年においては京都と大阪の二大都市圏に接した位置性を利し、自然と産業の共生を指向して開発された宇治田原工業団地が着実な企業誘致に成功をおさめるなど、宇治茶栽培と農林業が中心であった産業構造に巧みなプラス変換をもたらしている。また、茶の湯の精神をまちづくりに活かすことにより、インフラ整備から教育や文化施設の高度化、福祉の充実に至るまで、一貫した状況を生み出している。今後はこれらをさらに発展させ「茶文化を通じて心の豊かさを感じることができる21世紀のモデル都市」をめざしたプロジェクトの実現に期待が高まっている。



くつわ池



■面積 (km <sup>2</sup> )	58.16
■人口 (人)	9,046
■製造品出荷額等 (万円)	7,346,363
■主要産業	一般機械、輸送用機械、出版、印刷
■主な名産・特産品	茶、古老柿、椎茸、みず菜
■主な名所・旧跡	末山・くつわ池自然公園、禪定寺、猿丸神社、正寿院、永谷宗円生家、鷲峰山、信西入道塚

主な立地企業

三和サインワークス、濱田プレス工藝、タナックス、小野工業  
 大黒印刷、吉寿屋、ヤマコー、アキスチール

主な工業用地

宇治田原工業団地、緑苑坂テクノパーク



永谷宗円生家



総合文化センター